
要らない人

白月 安芸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

要らない人

【Nコード】

N0309BA

【作者名】

白月 安芸

【あらすじ】

『私』が自分より劣っている『あいつ』に敵対心を燃やす話です。
のtip

（前書き）

ちよつと、同じようなことを繰り返すようなところがお億多かつたので読みにくいカモです…。その辺りご了承下さいませ。

さっさと死ねばいい。

そう思った。

あいつは何もかも私より劣っていた。

50m走は毎回10秒台。私はいつも8秒台。

テストは全教科20点以下。私はすべて80点以上だ。

顔は幼い感じ。私は大人びている。

身長は低め。私は高め。

すべて私が勝っている。なのに、なのに…

みんなはあいつを可愛いという。可愛いのは顔だけじゃないか。

何でだ？何でなんだ？何が良い？何で良い？あいつなんか…

私のほうが美しい。それなのに。

私はそいつが嫌いだ。大嫌いだ。何もできないくせに、えらそう。生意気。わがまま。黙ってほしい、っーか黙れ。ウザイ。

私はみんなも嫌いだ。あいつなんかを可愛いといい、私に対して無感心だ。ぜんぜん話しかけてこない。

あいつのところには人がたくさんいるのに、私は独りぼっちだ。でも、あいつとは友達ということになっているから、あいつは私のところにやってくる。

むかつく。いらつく。金属バットで殴り飛ばしたくなる。もう、相手をするのは疲れた。

あいつなんて、

死ねばいい。死んでしまえばいい。死んじゃえばいい。死んでほしい。

私なんて

あいつに会いたくないなら。あいつにかかわりたくないなら。あいつを見たくないなら。あいつが存在してほしくないなら。あいつが居てほしく無いなら。

私が居なくなっても誰も悲しんでくれない。あいつが居なくなったら、みんな悲しんで涙を流す。思い出を懐かしむ。私は記憶の中にも残らないだろう。全ての人から『私』という存在を忘れられる。一人なら。独りなら。孤独なら。哀れなら。

さっさと消えてしまえば良い。

みんなに必要とされていないなら。要らないなら。居なくて良いなら。存在しなくて良いなら。消えてほしいと願うなら。

私が…私なんかが消えてしまえばいいんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0309ba/>

要らない人

2011年12月31日19時52分発行